

Dynavector Systems

DV-1

フレーム・キット



Design Concept

モールトン博士が生涯追及したテーマ。

それは、小径車輪、高剛性でまたぎやすいフレーム、よく仕事をするサスペンションでした。

DV-1は、これらのテーマを当社独自の視点で考察し、開発に10年をかけて具現化したDynavectorブランド初の自転車です。

新構造のスポークテンションフレームを採用することにより、高い剛性を持ちつつも硬さを感じない「しなやかに剛い(つよい)」乗り味を実現しています。

Specifications

フレーム：カイセイSNCM製スポークテンションフレーム・非分割式
フロント・サスペンション：リーディングリンク・テンションスプリング
リア・サスペンション：ソリッドラバーコーン
ホイール：17インチ
シートピラー：31.6mm

Spoke Tensioned Frame

硬さを感じさせずに剛性を上げるスポーク(筋肉)とフレーム(骨格)、自転車史上でも類を見ない構造は、現代の硬すぎるレーシング・フレームに異議を唱えます。

曲げて元に戻る力が強い竹のようなフレーム特性は体に優しく、長距離ツーリングで威力を発揮します。



写真撮影・提供：株式会社ホビージャパン



フロントサスペンション

舗装路にも存在する細かな路面の凹凸にどこまで対応してスムーズな乗り心地を得られるか、そのためにはサスペンション可動部のフリクションを最小化し、動きをなめらかにしなければなりません。ボールベアリングや含油プラスチックブッシュの採用で異次元のスムーズネスを実現しました。前ブレーキをかけてもフロントフォークが沈まないよう上下のリンク角度を調整、特に下りのコーナリング時の安定感・安心感は抜群です。コーナリング中に速度調整でブレーキをかけても狙ったラインをはずしません。



リアフォークのピボット部

この部分は横ガタも縦ガタもなく、スムーズに動かなくてはなりません。DV-1では左右にピロボール・ベアリングを配してこの問題を解決しました。高負荷に耐えつつ精度が要求される部品で、産業用ロボットやクルマの足回りにも使われています。しなやかで高級感ある乗り心地に一役買っています。



フロント・ディレイラー・マウント

大きなチェーンリングを必要とする小径車ではフロントの変速性能が常に問題となります。BBが前後輪の車軸を結ぶ線より上にあるためチェーンが後ろ下がりになり、ディレイラーを通常より大きく後退させる必要もあります。そこでディレイラーのマウント剛性、ケーブル進入角、取り付け位置・角度、全てを最適化しよう新設計しました。取り外し可能なマウントはステンレス鋳造で、電動変速器の強大な横応力にも対応します。

セラミックコート

21世紀の新技術、アメリカ生まれのセラミックコートは米軍の銃器にも使われるヘビーデューティーな表面処理です。硬い塗膜ですが、同時に母材への密着度が高く容易には剥離しません。また撥水性が高いので汚れがつきにくく、汚れてもすぐに拭き取ることができます。セラミックコートの量産自転車への使用はDV-1が世界初となります。



※印刷の色と実際の商品の色、質感は多少異なります。ご了承ください。



ダイナベクター株式会社

〒101 0031 東京都千代田区東神田3 2 7 TEL 03(3861)4341 FAX 03(3862)1650

www.dynavector.co.jp

仕様は予告なく変更される場合があります。

20171108G1000